

平成27年度「学校にアートがやってきた」推進モデル事業

事業実施校の記録(平成27年度実施校3校)

長浜市立余呉小学校

日時： 平成27年9月29日(火)・10月6日(火)・13日(火)

場所： 余呉小学校内図工室

参加芸術家： 大橋優子さん(長浜市在住 画家)

内容： 全校児童を対象にワークショップを実施。大きな布に絵を描いたり、しぼり染めをおこなったりして、全校児童で力を合わせ一つの作品を制作。



初日は全校児童にオリエンテーションを実施



自らの作品を手に説明をする大橋さん



無造作にインクを垂らした布を半分に折り合わせ、できた模様が何に見えるか考えて絵を描き加えます(合わせ絵)



絞り染めの布を輪ゴムで縛る子どもたち



とてもきれいに染めあがりました



余呉まるごと里山芸術村 2015 のメイン会場(旧余呉小学校講堂前)で制作した作品を展示しました。余呉湖の羽衣伝説にでてくる羽衣をイメージした展示になりました

画家

大橋 優子さん

ポップアートやイラスト、模様によるアート作品を描く。

知的障害者の生活介護事業所「ライフまいばら」で絵画教室を主宰する他、公民館等での絵画教室も行っている。

高島市立マキノ西小学校

日時： 平成 27 年 10 月 26 日（月）～ 11 月 2 日（月）

場所： 高島市立マキノ西小学校

参加芸術家： 赤池夏代さん（染織）、石黒紀代子さん（陶芸）

パク・ダークルティエさん（イラスト・漫画）、日花治子さん（立体造形・彫刻）

50 音順、全員高島市在住

内容： 作品の展示や制作（アトリエ開放）およびワークショップを実施した。



赤池さんの作品（写真手前）



石黒さんの作品



日花さんの作品
（石鱗を素材とした造形作品）



日花さんは屋外にも展示
（布おむつを使った作品）

アトリエ開放： 10 月 26 日（月） 13:25～14:30

学校内で芸術家が作品制作の様子を披露し、全校児童が順番にその様子を見学した。

ワークショップ： 11 月 2 日（月） 10:40～12:15

赤池さん...フェルトコースターづくり（5,6 年生対象）

石黒さん...陶芸の絵付（3,4 年生対象）

日花さん...紙粘土液に浸した布による造形作品づくり（1,2 年生対象）

事前ワークショップ

日花さん・・・6 月 29 日（月） 巨大シャボン玉づくり（1,2 年生対象）

石黒さん・・・9 月 29 日（火） 11 月 2 日に絵付けする作品の成形までを実施（3,4 年生対象）

染織家 赤池 夏代さん

スポーツに打ち込む学生時代を過ごし、引退後、母親に買ってもらった編機を習い始める。編み物歴は 40 数年。

結婚後も、洋裁、手編みを習い子育て中も、時間の許す限り手仕事を続ける。10 数年前には、草木染めに会い仕事の合間に習いに通う。退職をきっかけに、手織り教室、紡ぎ教室に通い、フェルトの作品も制作するようになる。

ご主人の退職を機に、自然豊かな所で暮らしてみたいと思い、マキノに移住。現在は、毛刈りした羊の毛を分けてもらい、マキノの植物で染め、手紡ぎ、手織りをして作品作りに励んでいる。



アトリエ開放では糸車やはたおり機を実演。見慣れない道具に子どもたちも興味津々です



出来上がった作品



ワークショップではフェルトコースターを制作
羊毛に石鹼水をかけて何度も擦り、フェルトになるまで同じ作業を繰り返します



子どもたちに指導する石黒さん



アトリエ開放では子どもたちと桜のコースターをつくりました



陶芸家 石黒 紀代子さん

2004年仕事を退職後、以前から興味関心のあった陶芸を始める。

同時に地域の小学校・中学校に図工・美術コーディネーターとしても活動し、こどもの国や藤樹の里文化芸術会館などで造形あそびの指導も行っている。

また、お年寄りのサロンで陶芸を取り入れて楽しく制作の指導も行っている。

ワークショップのテーマは
3年生がランプシェード
4年生がふしぎな魚

個性豊かな作品が出来上がりました！！



パクさんが制作したアニメーションや漫画を子どもたちに披露しました
パクさんはアトリエ開放のみ参加



イラスト・漫画家

パク・ダークルティエさん

出身地：カナダ・ケベック州

日本文化や教育に興味を示し、2014年9月より高島市のTEEA (Takashima Elementary English Assistant) としてマキノ地区の保育園や小学校に勤務している。学生時代はコンコルディア大学でフィルムアニメーションを専攻し、現在はパソコンのグラフィックで漫画やイラストを描くなどの芸術活動を追究している。



アトリエ開放では普段どのように作品をつくらせているのか実演しながら解説しました

ワークショップでは、紙粘土液に浸した布で造形作品をつくりました
(まっしる!? つんつん!?
よきにょきにょき!? せかい)

上：日花さんの見本作品
下：子どもたちの作品



立体造形・彫刻家 日花 治子さん

1984年生まれ、滋賀県高島市出身、在住
2007年、京都造形芸術大学美術工芸学科彫刻コース卒業
2009年、金沢美術工芸大学美術工芸研究科彫刻専攻修了
大学院を修了した後、地元の高島市で制作活動を行なっている。様々な場所で個展(京都、東京など)やグループ展(滋賀、京都、兵庫、韓国、ハンガリーなど)で作品を発表している。

また、展覧会(CAF.Nびわこ展)の関連ワークショップや「藤樹の里キッズアート」(高島市/藤樹の里文化芸術会館)、「美の糸口 - アートにどぼん! - 」(大津市/滋賀県立近代美術館)など、ワークショップでも積極的に活動している



事前ワークショップでは子どもたちと巨大シャボン玉による造形あそびを行いました



高島市立青柳小学校

日時： 平成 27 年 10 月 5 日（火）～10 月 16 日（金）
土日および 7 日、9 日、15 日は活動なし

場所： 青柳小学校児童会室

若手芸術家： 岡野史子さん（高島市在住 陶芸家）

内容： 期間中、期間中、学校に通い、児童と交流しながら、一教室をアトリエとして作業するとともに、作品の展示も実施。



教室で作業する岡野さん



学習机を食卓に見立て作品を展示



休み時間の度に子どもたちがやってきて岡野さんと粘土遊びを楽しみました



ワークショップ：

市の美術展に出品する作品づくりを行った。所要時間は 1 学年あたり授業 2 時間分×3 回。

6 年生 陶土を使って幾何学模様のレリーフをつくろう！

5 年生 陶土を使って壺をつくろう！

4 年生 紙粘土を使ってお面をつくろう！



熱心に指導する岡野さん



作品制作にあたっては学校近くの西万木遺跡で発掘された銅器のデザインなどを参考にしました



作品づくりに没頭する子どもたち



事前打ち合わせでは先生も制作を体験しました



子どもたちの作品。
5 年生の壺づくりでは膨らませた風船に粘土を貼り付ける方法で丸い形をつくりあげました。

陶芸家

岡野 史子さん

1986 年に滋賀県大津市に生まれる。2010 年に滋賀県立大学人間文化学部生活デザイン専攻を卒業し、2012 年に京都府立陶工高等技術専門校総合コースを修了。その後、膳所焼窯元などで修業の後、2014 年には、「工房 つばめの巣」開窯する。以来、クラフトフェアを中心に全国各地を回っている。